

「人・社・祭—文化風土の記録」

講演会・上映会のご案内

日時：4月 22日（土）14:00 開演（開場 13:30）—16:00

会場：國學院大學 渋谷キャンパス 2号館1階 2104 教室

（※開場のアクセス、下記地図を参照。※教室は変更の可能性あり）

入場：参加無料 定員 150名（申込不要）

プログラム

講演：「神宮外苑の過去・現在・未来、オリンピック 2020 に向けて—一大地に根差した『本物の杜』の実現のために—」

講師：石川 幹子（日本のランドスケープ・アーキテクト、
中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授）

司会 茂木栄（國學院大學・教授）

石川 幹子（いしかわ みきこ）氏 プロフィール

日本のランドスケープ・アーキテクト。中央大学理工学部教授、東京大学名誉教授。
農学博士、技術士（都市及び地方計画）、日本学術会議会員。

上映映像：「手の匠—日本文化をうみだすもの—」

（公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団、H17年制作、30分）

漆芸・陶芸、人形浄瑠璃、茶、仏像に焦点を当て、日本文化の中に占める「手」の意義と魅力を謳い上げる。



[交通アクセス]

- ・渋谷駅（JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約13分。
- ・渋谷駅（JR埼京線）新南口から徒歩約10分。
- ・都営バス（渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行）「国学院大学前」下車。約10分（運賃180円・IC175円）

主催：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団・
NPO 法人社叢学会・國學院大學環境教育研究
（プロジェクト）・共存学（プロジェクト）